

科目名	臨床検査演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							2年 前期
【授業の目的・ねらい】 医療における画像情報の意義がますます大きくなっていることを知り、CT、MRを含めた画像情報の基本的特徴と その見方等を学び画像と種々の疾患・病態との関連を理解することができる。							
【実務者経験】 明舞中央病院、神戸リハビリテーション病院等にて診療放射線技師として従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士に必要な画像診断について理解できる。言語聴覚士に必要な画像の基礎的な読影技術を身につける。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 各種画像情報の意義・特徴を理解し、活用できる基礎知識・読影技術を習得する。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	各種画像診断法の原理と特徴(1) 主な画像検査法の原理・特徴を理解できる。						配布資料 PC, PPT
2	各種画像診断法の原理と特徴(2) 主な画像検査法の原理・特徴を理解できる。						
3	脳画像の基本 単純X線画像・CT・MRI・SPECT・PET等を理解できる。						
4	画像の見方(1) 脳の画像解剖 1)について理解できる。						
5	画像の見方(2) 脳の画像解剖 2)について理解できる。						
6	画像の見方(3) 脳の画像解剖 3)について理解できる。						
7	画像の見方(4) 脳の機能局在 1)について理解できる。						
8	画像の見方(5) 脳の機能局在 2)について理解できる。						
9	画像の見方(6) 症例 1)について理解できる。						
10	画像の見方(7) 症例 2)について理解できる。						
11	画像の見方(8) 症例 3)について理解できる。						
12	画像の見方(9) 症例 4)について理解できる。						
13	画像の見方(10) 胸部の画像解剖について理解できる。						
14	画像の見方(11) 胸部X線画像・CT画像のみかたについて理解できる。						
15	画像の見方(12) まとめ について理解できる。						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 『標準言語聴覚療法 別冊 脳画像』 医学書院							
【準備学習・時間外学習】 あらかじめ教科書に目を通しておくこと。また復習を行うこと。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							